

6 深沢市街地域 地域別方針



まちづくりの基本的考え方

- 天神山・等覚寺山等の斜面緑地、市街地に残る農地等の緑や柏尾川等の河川など自然環境の保全・管理、新たな活用を図る。
- 住宅と工場、店舗など様々な都市機能が調和する住みやすい市街地をつくる。
- 「大人と子どもが手をつないで歩けるまち」を念頭に置き、深沢地域国鉄跡地周辺の開発を地域のまちづくりにいかす。

目標

目標①

**市街地を取り囲む
斜面緑地と柏尾川
を生活空間とする
まちづくり**

方針

①多世代が楽しめる場の整備を進めると共に、現存する緑地、農地を保全しつつ、市民が農作業や自然に親しめる空間を整備する

②柏尾川などの河川・水路に水と緑の空間を作る

取り組み

- 古都保存法以外の手法による保全
- 身近な緑の保全
- 都市公園等の緑の保全・創出
- 健康増進につながる多目的な施設の充実
- 生産緑地地区の保全
- 現存する農地の保全活用

- 柏尾川などの河川空間の活用
- 夫婦池公園周辺は自然を保全しつつ、水に親しめる空間として整備

目標②

**様々な土地利用の
相互調整による良好な市街地環境の形成**

①緑豊かな住宅地を保全する

②基盤未整備の住宅地を整備する

③住工混在の土地利用の相互調整を図る

④藤沢鎌倉線等主要な道路沿道の景観整備及び適切な土地利用を誘導する

⑤深沢地域国鉄跡地周辺の開発効果を高めるため、住環境・高齢社会に配慮した安全で快適な道路・交通ネットワークを形成する

⑥地域の防災性の向上を図る

- 住宅地環境の保全・形成
＜一般住宅地、丘陵住宅地、中層住宅地＞
- 緑豊かな住宅地を作り、守るルールづくり
- 特別緑地保全地区の保全・維持管理

- 道路や公園の整備
- 下水道の早期整備

- 住宅と産業が混在する地域の環境整備
- 高度な産業機能の育成
- 工場地における緑化

- 生活型商業地の形成
- 沿道の景観整備（商業施設の形態変化に対応したまち並み形成、屋外広告物の規制等）

- 藤沢鎌倉線、長谷常盤線等の整備
- 生活道路の環境改善（歩行者や自転車に配慮）
- 東海道本線新駅の整備構想に伴う新たな道路・交通ネットワークの検討・形成
- モノレール駅のバリアフリー化（湘南深沢駅等）

- 地域の防災拠点の整備
- 基盤整備による防災性の向上

目標③

**市民のための深沢地
域国鉄跡地周辺のま
ちづくり**

①全市的視点から自然環境の保全再生と市街化のバランスの取れたまちづくりを行う

②民間活力の導入を視野に入れた市民のための拠点として整備する

③歩行者・自転車等を尊重した交通施設の整備を行う

- 土地利用計画やまちづくりガイドライン（案）に沿ったまちづくり（緑の創出、基盤整備等）
- 省エネルギー等環境共生のための施設整備
- 山崎下水道終末処理場未活用地における新ごみ焼却施設の整備検討（災害時におけるエネルギーの有効活用等）

- 多目的に使える公園、緑の原っぱの整備（防災拠点、スポーツ広場、子どもが遊べる公園等）
- 保健・医療福祉関連機能、スポーツ・レクリエーション施設、情報産業等の複合施設の導入
- 多様な住宅供給（若年世代や多様な人々が生活できる住環境、バリアフリー化等）

- パークアンドライド* 駐車場の整備
- 快適に歩ける空間整備
- 適正な交通計画

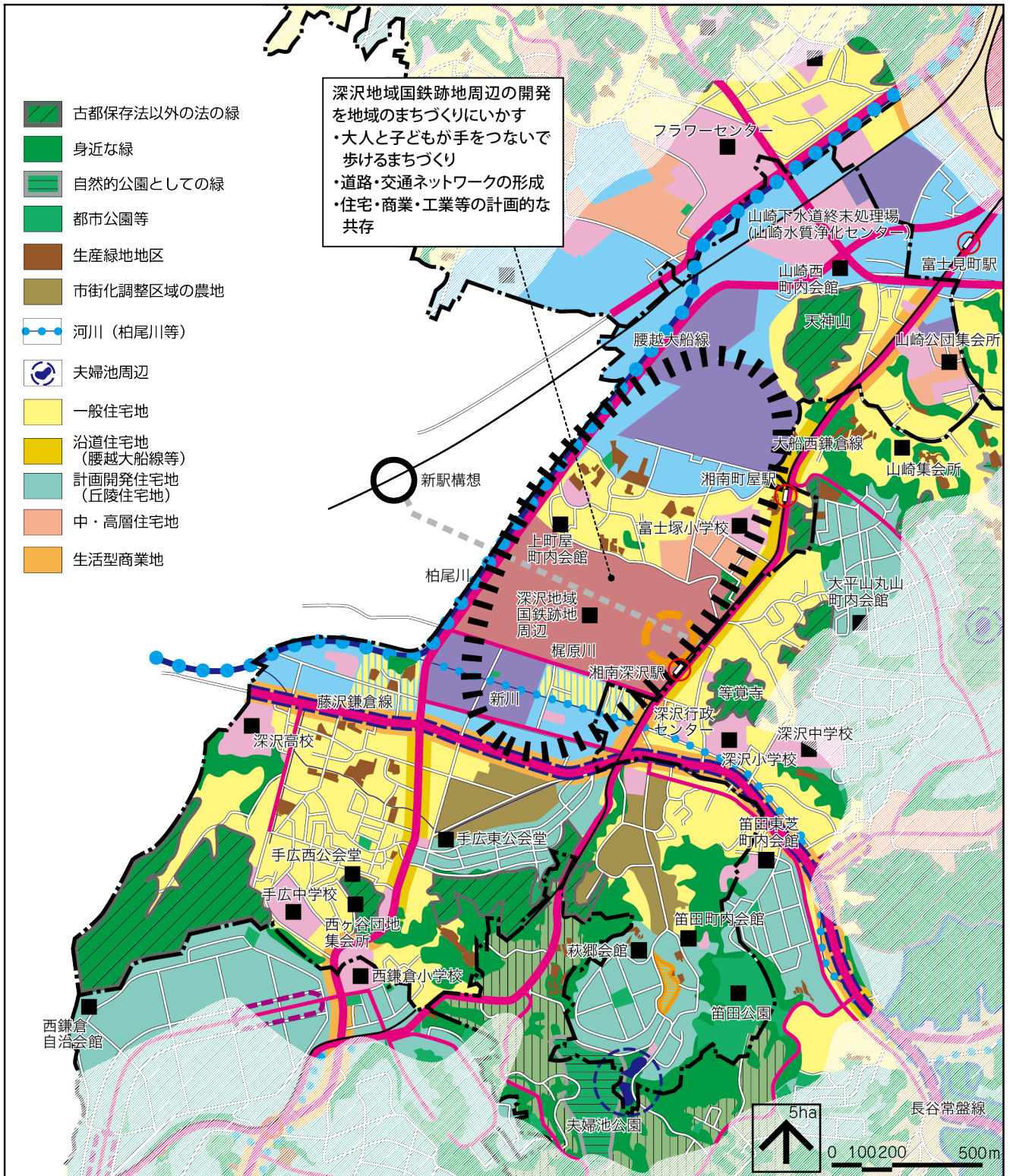
ソフト面の取り組み

- ・ブランド化された「鎌倉やさい」の販売促進、観光農園、流通等の新たな農業体制づくり

検討課題

- ・東海道本線新駅整備への対応
- ・市街化調整区域のあり方

図 地域別方針……深沢市街地域



- | | | |
|---------------------|--------------------------|------------------|
| 産業地 | 地域生活拠点 | 地域交通拠点 |
| 産業複合地 | 地域の防災やコミュニティ拠点 | パークアンドライド*駐車場の整備 |
| （産業複合地における土地利用転換地等） | 地域間を結ぶ主要道路（藤沢鎌倉線、長谷常盤線等） | 深沢地域国鉄跡地周辺拠点の整備 |
| 公共公益施設等 | 生活道路 | 地域別の概ねの区域を示す字界 |
| 新たな都市機能の導入 | 新駅の整備構想等に伴う交通ネットワークの検討 | |
| 地区計画 | 藤沢鎌倉線沿道 | |